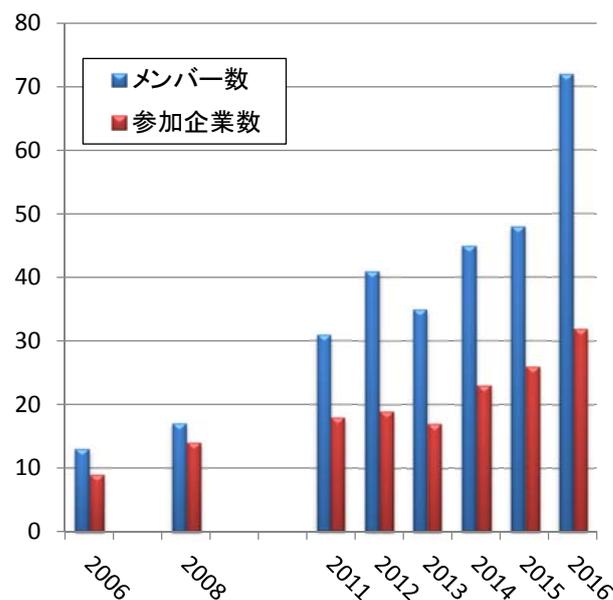


「構造とBIM」 アンケートから見える構造BIM利用の課題

一般社団法人IAI日本
構造分科会 アンケートWG
大越 潤・東條 有希子

1. 構造分科会の活動

- 参加企業・メンバー数
 - 72名、32社(過去最多)
- 活動体制
 - 全体会(4か月に1回)
 - ST-Bridge普及WG
 - ST-Bridge計算WG
 - アンケートWG
 - 鉄骨IFC検定WG



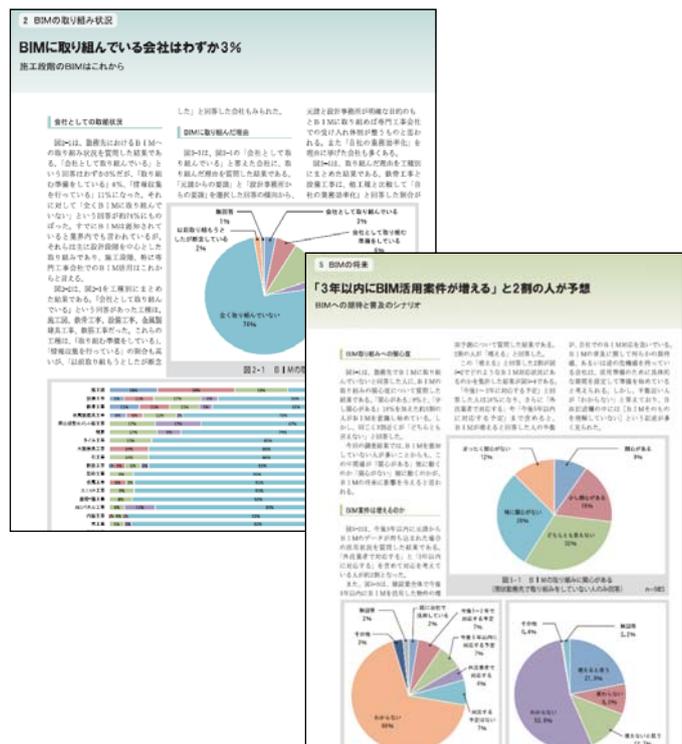
アンケートWGの活動内容

- 構造設計におけるBIMの活用実態調査の実施と分析
 - 日建連の専門工事会社のBIMアンケートの構造設計版の位置づけ
 - 「専門工事会社におけるBIM活用実態調査報告書2011年版」平成24年5月
社団法人日本建設業連合会 生産委員会 IT推進部会 BIM専門部会
 - RUG構造部会で実施予定のアンケートの共同実施の検討
 - Revitなど特定のソフトウェアに依存しない構造BIMアンケート
 - RUG構造部会では共同実施についての承諾済み
 - ソフトウェアベンダーの協力
 - アンケートの送付はソフトウェアベンダーの顧客に対し実施
 - アンケートの集計まではソフトウェアベンダーにお願いしたい
 - 分析作業はWGメンバーで分担
 - 回答者をピックアップしてベンダーと一緒にヒアリング活動
 - アンケートの集計と分析結果をセミナーなどで公開

「専門工事会社におけるBIM活用実態調査報告書2011年版」 平成24年5月 社団法人日本建設業連合会 生産委員会 IT推進部会 BIM専門部会

専門工事会社における
BIM 活用実態調査報告書
2011年版

平成 24年 5月
社団法人 日本建設業連合会
生産委員会 IT推進部会
BIM専門部会



アンケート実施ソフトウェアベンダー

アンケート対象: 市販一貫構造計算ソフトを利用する構造設計者

開発会社 ソフトウェアベンダー	一貫構造計算 ソフト
ユニオンシステム	SS3
構造システム	BUS-5 (SNAP)
構造ソフト	BUILD一貫
アークデータ研究所	ASIN (ASCAL)
NTTファシリティーズ総研	SEIN
構造計画研究所	RESPD

5

「構造設計とBIM」アンケートの概要

- 期間:
 - 2015年11月～2016年1月末
- 対象:
 - 構造設計業務従事者
- 内容:
 - 会社の規模・業務内容
 - 構造設計でのBIM活用

「構造設計とBIM」アンケート回答のお願い

2015年11月吉日
一般社団法人 IAI 日本
構造分科会 アンケート WG

一般社団法人 IAI 日本 (<http://www.building-smart.jp/>) では、構造分科会の WG として、新たにアンケート WG を設置し、構造設計に携わる方々の構造設計、および BIM の理解、利用の実態を調査し、規模・業務内容などをもとに統計的に処理することで、現在皆さんがどのように活用されているかを、WG の活動として明らかにしたいと考えております。

このため、今回主に一貫構造計算ソフトを製造・販売しているソフトウェアベンダー各社の協力を仰ぎ、アンケートを実施するに至りました。

お手数をお掛けすることにはなりますが、日本の構造設計と BIM の実態の把握にご協力いただきたいと思っております。

また、このアンケートでは、回答を頂く皆さんの事業所の規模などをお聞きする内容となりますが、個人情報保護の観点から、WG に対しソフトウェアベンダーから、事務所名および個人名の情報提供は行いません。

一部ご協力いただける方には、アンケート実施後に WG より個別にヒアリングをお願いしたいと考えております。アンケート実施の際に、ソフトウェアベンダーの担当者にご協力頂ける旨をお話し下さいますよう、お願い致します。

最後に、本アンケートの結果については、来年度夏ごろ迄に分析を行い、IAI 日本で公表したいと考えております。統計データという観点から、皆様方には重ねて回答にご協力いただけますよう、よろしくご協力申し上げます。

6

